

日本金属学会 触媒材料研究会

ミニシンポジウム：「貴金属ポーラス体の微細構造と反応特性」

趣旨

「触媒材料」はこれまでも化学合成プロセスなどで威力を発揮してきたが、排ガス浄化やエネルギー変換など、環境・エネルギーの分野においても大きな役割を果たすようになり、材料分野における存在感も日増しに大きくなっている。“ナノ粒子/担持系” 貴金属においては様々な触媒機能が知られており、従来は触媒化学の観点から検討されてきた。しかし最近、ナノ粒子や担体を有しない貴金属ポーラス体においても高い触媒活性が出現することが明らかになり、貴金属触媒の起源を再考する必要性が生じてきた。本ミニシンポジウムは、この分野の第一線で活躍する国内研究者を集め、異なるアプローチによる研究事例について金属組織の視点から議論を行うことで貴金属触媒の機能の起源に迫る。

日時：2013年1月8日（火） 13：40～16：50

場所：（独）物質・材料研究機構 千現研究本館 第2会議室

http://www.nims.go.jp/nims/office/tsukuba_sengen.html

講演会参加費：無料（懇親会参加費：3,000円）

13:40～13:45 世話人挨拶 物質・材料研究機構 西村 睦

13:45～14:25 「金属組織制御を利用した複相ポーラス貴金属触媒材料の調製」
東北大 多元物質科学研究所 亀岡 聡

14:25～15:05 「貴金属ナノポーラス構造による有機物質の安定化と分解」
京大 大学院エネルギー科学研究科 袴田昌高

15:05～15:30 コーヒー ブレーク

15:30～16:10 「Auのナノ粒子化を必要としない高活性ポーラス Au-Cu合金の断面TEM観察」
物質・材料研究機構 田邊豊和

16:10～16:50 「ナノポーラス AuのCO酸化触媒におけるその場電子顕微鏡観察」
東北大 WPI-AIMR 藤田武志

16:50 閉会

17:30 懇親会

参加申込みお問合せはE-mailで

物質・材料研究機構 西村睦または廣瀬まで

Tel: 029-859-2652

E-mail: NISHIMURA.Chikashi@nims.go.jp

HIROSE.Kayoko@nims.go.jp